

授業科目名	中南米の言語と文化	担当教員名	三輪能弘（ミワ ヨシヒロ）
		E-mail	yoshichancito@gmail.com
授業形態	講義形式	オフィスアワー	
コース		授業体制	
単位	2	配当年次	2025
アクティヴ・ラーニング	外向き（ディベート形式）	必修・選択	選択
授業概要	スペイン及び中南米の国々で広く話されているスペイン語（4億7千万人の公用語）に触れ、今日の中米の現状やその背景にある歴史、文化・習慣を知ることによって中南米を身近に感じるとともに、国際社会の多様性への理解を促す。		
到達目標	1. スペイン語圏の国を訪れる際に最低限必要とされる程度のコミュニケーション能力の取得及び現地のマナーの理解。 2. ラテンアメリカ事情に触れつつ、現地の人々のものの考え方や感じ方、価値観を理解する。 3. 2. を踏まえた上で、国際社会の多様性への理解を深め、国際問題をより幅広くとらえる力を育てる。 なお、各講義においては、講義の前半にラテンアメリカ全体にまたがる事柄ないし各国事情を取り上げ、後半にスペイン語の学習を行う。		
受講条件			
授業計画	No	内容	授業外学習
	1	・スペイン語圏の拡大（①スペインの新大陸進出、②米国でのヒスパニック・コミュニティの拡大） ・スペイン語（イントロダクション／会話）	スペインの新大陸進出について調べる。
	2	・ラテンアメリカの概要（歴史、人種、自然、気候） ・スペイン語（スペイン語の特徴、特有の文字、読み方、アクセント、冠詞／会話）	・ラテンアメリカの人種、自然、気候について調べる。 ・前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	3	・ラテンアメリカの概要（政治、経済） ・スペイン語（あいさつ、よびかけ／会話）	・主要なラテンアメリカ諸国の産業について調べる。 ・前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	4	・アルゼンチン事情 ・スペイン語（人称代名詞、敬称、男性形・女性形／会話）	・アルゼンチンについて調べ、興味ある点をメモする。 ・前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	5	・チリ事情 ・スペイン語（動詞の変化（規則動詞）／会話）	・チリについて調べ、興味ある点をメモする。 ・前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	6	・エルサルバドル事情 ・スペイン語（動詞の変化（不規則動詞）／会話）	・エルサルバドルについて調べ、興味ある点をメモする。 ・前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	7	・パナマ事情 ・スペイン語（尋ねる時（通常の疑問文）／会話）	・パナマについて調べ、興味ある点をメモする。

			・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	8	・ ペルー事情 ・ スペイン語（尋ねる時（疑問詞）／会話）	・ ペルーについて調べ、興味ある点をメモする。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	9	・ ベネズエラ事情 ・ スペイン語（天気、気候／会話）	・ ベネズエラについて調べ、興味ある点をメモする。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	10	・ ドミニカ共和国事情 ・ スペイン語（頻度の高い表現／会話）	・ ドミニカ共和国について調べ、興味ある点をメモする。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	11	・ カナリア諸島（スペイン）事情 ・ スペイン語（外国入国時のやり取り／会話）	・ カナリア諸島（スペイン）について調べ、興味ある点をメモする。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	12	・ ラテンアメリカの日系社会 ・ スペイン語（レストランでのやり取り／会話）	・ ラテンアメリカの日系社会について調べる。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	13	・ ラテンアメリカの発展可能性と社会問題（貧困、失業、格差、汚職、治安） ・ スペイン語（買い物時のやり取り／会話）	・ ラテンアメリカの貧困、失業、治安について調べる。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	14	・ ラテンアメリカの人間関係（家族観、コミュニケーション） ・ スペイン語（自己紹介／会話）	・ 各自の家族関係について簡潔にまとめる。 ・ 前回のスペイン語の講義の復習を行う。
	15	・ ラテンアメリカと日本との文化的な違い ・ スペイン語（学習内容のまとめ／会話）	・ ラテンアメリカと日本との文化的な違いについての自分の考えをまとめる。
評価	出席 25% 宿題 25% クラス内での発表 25% 最終レポート 25%		
テキスト	必要な資料は講義時に配布。		
参考文献			
備考			